

第7回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和3年(2021年)10月8日(金) 17時00分～18時30分
場所	長野県立武道館 大会議室
出席 (敬称略)	花里英一, 吉岡道明, 高見澤一男, 相馬栄治郎, 渡辺 仁, 白鳥敬日瑚, 堀内ふき, 廣末恵子, 高橋 功, 吉岡 徹, 中島瑞枝, 近藤史章, 新井晃人, 坂内裕美子, 山崎裕史, 山下純一, 井出豊彦, 木下照美, 森泉雄二, 中島俊太郎, 小山莉歩, 渡邊陽樹, 横川響菜, 小須田理代(以上24名)
傍聴者	23名
事務局	野沢北高校: 吉澤 教頭(事務局長), 佐々木 教諭 野沢南高校: 鈴木 教頭(副事務局長), 児平 教諭 県教育委員会: 上原主幹指導主事, 石井主事, 村澤施設担当係長, 小林主任指導主事
当日資料	○次第, 第6回懇話会まとめ, 佐久新校の学校像(たたき台), 佐久新校の学校像について(佐久新校プロジェクトチーム案)

会議事項

- (1) 第5回校地検討部会について(報告)
- (2) 第6回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて(報告)
- (3) 佐久新校の学校像(たたき台) 意見交換

主な内容(要旨)

【佐久新校プロジェクトチームたたき台について説明】

- 「目指す学校像」、「育てる生徒像」、「設置学科」、「自主活動」、「学び・カリキュラム」、「地域連携・コンソーシアム」について、プロジェクトチーム案を説明

<構成員からの意見質問> (⇒プロジェクトチーム回答, →県教委回答)

【目指す学校像】

- ・リーダー養成校という印象。
- ・もっと学びたいという気持ちに対応できる学校にして欲しい。
- ・チームワークも必要。様々な生徒が集まる学校になってほしい。
- ・新校の本質は普通科教育の高校。

【育てる生徒像】

- ・リーダーとなる人の人物像、人となりを養成する原則がとても重要。

【設置学科】

- ・設置学科は「特色学科」を設置するということか。
⇒単なる普通科ではなく、探究、学び等を更に広げ、深めた学科をつくりたい。一つの学科、3つの系統を研究中。

【学び・カリキュラム】

- ・「個別最適な学び」とは何か。今までの学びと何が違うのか。
⇒「個別最適な学び」は、個性や適性など生徒の状況に合わせた学びをしていこうというもの。今までは学年制。だが、これからの学びには難しい面がある。進路に合わせて科目を自由に選択できる単位制のようなものを研究中。
- ・特進クラスのような集団をつくる可能性について伺う。
⇒特進は今後検討。進学に必要なものは必ず全員が履修。その後に必要なもの、興味あるものを選択幅を広げていく。学外の学びを単位認定できるシステムも検討中。
- ・徹底した基礎学力の涵養の記載がない。どこかにきちんと位置付けて書き込んで欲しい。
- ・一見、無駄と思える学習も必要ではないか。理不尽さを学ぶことも盛り込んでほしい。
- ・新校で定時制課程がどのようになるのか伺う。
→現段階は統合後も設置の予定だが、3月に定時制・通信制の整備計画案を提示予定。新校の定時制についてはこの案を基に検討することになる。

【地域連携・コンソーシアム】

- ・「多様性」が大切。「地域」という言葉も多く出ている。それらの関わりも強調してほしい。
- ・学校を地域で支える部分が出せればと思う。他の高校とのコンソーシアムも必要と考える。大学図書館の利用や大学の授業への参加、高校と大学の共同研究もしたい。

【その他】

- ・表題の「未来社会の核となる…」は意味の取り方が広すぎてよくわからない。
- ・LGBTに対応した学習環境が必要。通いやすい場所に学校があることは魅力。
- ・専門用語は分かりにくいものがある。平易な言葉で表記してほしい。

※次回、佐久新校の学校像プロジェクトチーム修正案について意見交換

次回の予定

日 時：(調整中)

場 所：(調整中)

会議内容：「学びのイメージ」「目指す学校像」について意見交換